

## 後世へ守り伝えるために

### 「阿蘇」の景観を守る宣言



熊本県と、阿蘇地域7市町村は、令和2年1月に「阿蘇」の景観を守る宣言」を採択し、先人たちから受け継がれてきた貴重な財産である阿蘇地域全域の文化的景観を守り、育み、伝えることを宣言しました。「阿蘇」の壮大で美しい景観は、活発な火山活動で形成された世界最大級のカルデラと、人々の暮らしや長年にわたる営みにより形成されてきました。人々を魅了する阿蘇の眺望が、開発行為等によって、著しく傷つけられることがあってはなりません。

### 野焼き支援ボランティアの活動



(公財)阿蘇グリーンストック提供

畜産農家の減少や、人手不足、高齢化によって、維持が難しくなり、草原の面積は年々減少しています。九州を中心に全国から参加された野焼き支援ボランティアの方々が、野焼き支援や輪地切り(防火帯づくり)等の支援を行い、草原維持の応援団として活動されています。

野焼き支援ボランティアに関するお問い合わせ先

(公財)阿蘇グリーンストック  
TEL 0967-32-3500

## 世界遺産登録までの流れ

### 1 国がつくる「世界遺産に推薦したい候補リスト」(暫定一覧表)に記載される

世界遺産候補として認められることとなります。

☆現在、阿蘇はこのリストへの記載を目指しています!

### 2 国がユネスコ世界遺産委員会へ推薦書を提出

リストの中から、原則1年につき各国1件以内を推薦します。

### 3 審査機関による現地調査

文化遺産は国際記念物遺跡会議(ICOMOS)が、自然遺産は国際自然保護連合(IUCN)が調査します。

### 4 ユネスコ世界遺産委員会における審議

認められたら…

### 5 世界遺産に登録!

## 「阿蘇」を世界文化遺産へ

「阿蘇」は、世界最大級のカルデラにおいて、古来から自然と人々の共生により維持されてきた草原や、長い年月をかけて農耕の生産性向上・拡大を進めた田畑などにより形成されており、世界にも類例のない、壮大で美しい景観です。

この景観を、「人類共通の資産(たから)」として適切に保全し、未来へ引き継いでいけるよう、熊本県と阿蘇郡市7市町村では、「阿蘇」の世界文化遺産登録に向けた取り組みを進めています。

### 問い合わせ先

#### 阿蘇世界文化遺産登録推進協議会

熊本県 阿蘇市 南小国町 小国町 産山村 高森町 南阿蘇村 西原村  
(事務局:熊本県文化企画・世界遺産推進課)

TEL:096-333-2153

発行:2022年度

阿蘇 世界遺産



# めざそう! 世界文化遺産

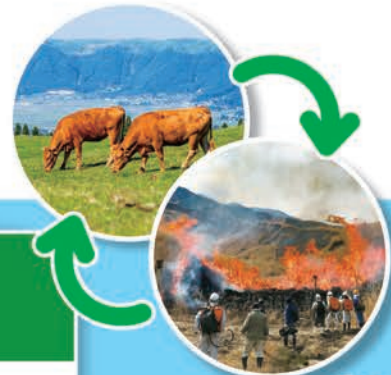
「阿蘇カルデラー草地とともに  
生きてきたカルデラ農業景観」





# 「阿蘇カルデラー草地とともに生きてきたカルデラ農業景観」の特徴

阿蘇の壮大な景観は、日本の伝統的な土地利用である「草地ー森林ー集落ー田畑」が、カルデラ全域に広がることにより形成されています。「野焼き・放牧・採草」の草地管理システムに基づいた人々の営みにより、千年以上にわたって半自然草地が維持され続けてきました。



## 特徴1 外輪山上・カルデラ壁・カルデラ床・中央火口丘に明瞭に区分されて残された土地利用のパターン

草地ー森林ー集落ー田畑の土地利用のパターンが世界最大級の阿蘇カルデラ全体を隅々まで覆い尽くす壮大なカルデラ農業景観を生み出しました。

## 特徴3 豊富な湧水及び伏流水の治水・利水システム

用水路やため池などの農業水利施設を造り、農耕の生産性向上や拡大を図ってきました。



## 特徴4 火山信仰及び開拓に関わる信仰形態・伝承の証拠

火山で暮らすための精神的な営みとして、火山信仰をはじめとする多様な信仰や伝承を生み出してきました。



## 特徴2 土地利用パターンを成り立たせてきた野焼き・放牧・採草の草地管理システム

草地管理システムが半自然草地の安定的な維持に大きく貢献し、草地や水田の広がりが壮大で美しい農業景観を形成してきました。



※カルデラ内の土地利用の一例であり、個々の土地利用は地域により異なります。